

このリーフレットは、浄土真宗のご本尊「阿彌陀如来」について子どもたちにわかり易く伝えるため作成しました。

阿彌陀如来は仏教を開かれたお釈迦さまが教えてくださった仏さまです。

私たちが日々の暮らしの中で、嬉しい事があった時や、辛く悲しい時でも、阿彌陀如来は、「大丈夫だよ、わたしにまかせなさい、そのまま救う」とつねによびかけられ、南無阿彌陀仏という声となつて、すべての生きとし生けるものためにはたらき続けている仏さまです。

南無阿彌陀仏と称え、阿彌陀如来に導かれ、見まもられ、

生かされているという安心感はこの世の中を精いっぱい生きぬいていく大きな力となるでしょう。

悲しい時も喜びの時も、お子様と一緒に南無阿彌陀仏と称え、阿彌陀如来と共に歩む人生を送っていただきたいと思えます。



2021(令和3)年4月15日の立教開宗記念法要において、ご門主(本願寺住職)が「親教(ご法話)の中で、親鸞聖人の教えの肝要を新たにまとめた「浄土真宗のみ教え」を示されました。共に唱和し味わいましょう。

浄土真宗のみ教え

南無阿彌陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは 本来「つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう いただきたい

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

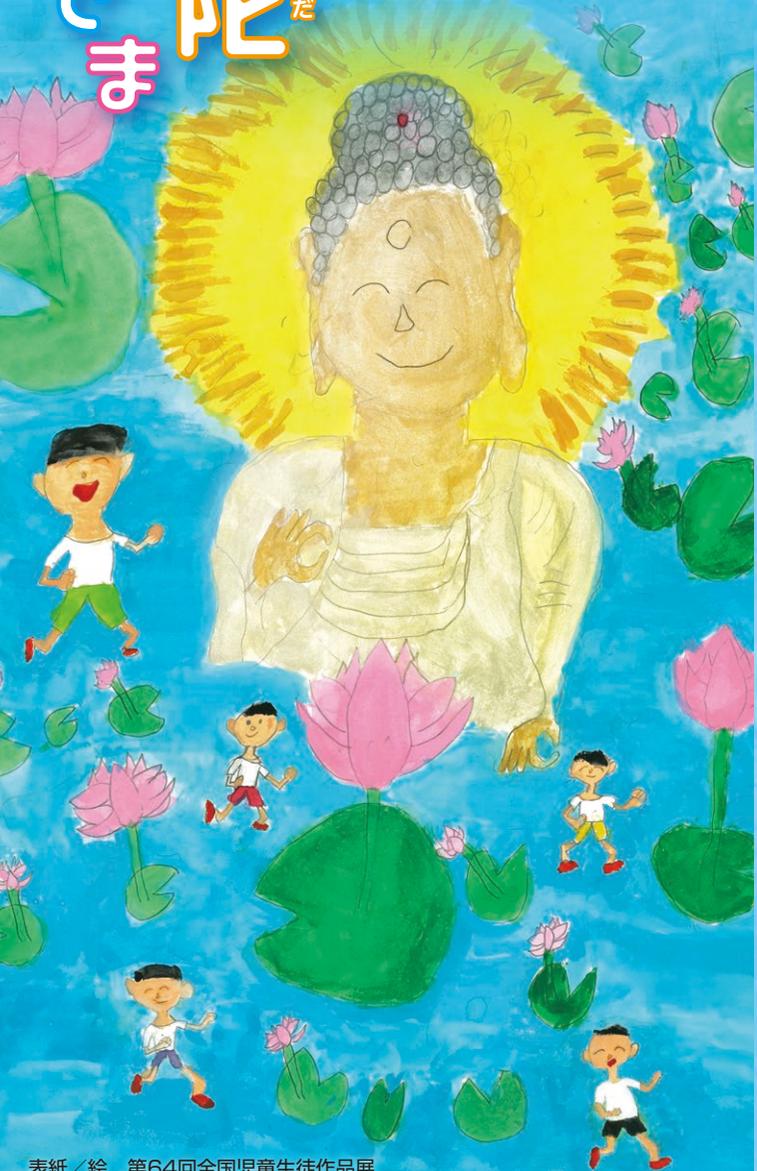
穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

シリーズ②
日常生活の中の
「縁づくり」

阿彌陀さま



あみだ 「阿弥陀さま」

ぼくは翼。小学3年生。

この前、子ども会があって、お寺の本堂に遊びに行きました。

本堂に入ると、みんなで阿弥陀さまにお参りしました。

でも、阿弥陀さまってどんな方なのかわからないから、お寺の先生に尋ねてみました。



「学校でも、帰り道でも、家についても、布団の中でもいっしょだよ。それに、翼さんがどこへ引っ越してもいっしょだよ。阿弥陀さまのお名前を『なもあみだぶつ』と称えてごらん。翼さんの声とともに、阿弥陀さまは、いつもそばにいてくださるよ。」

先生のお話を聞いて、阿弥陀さまがいっしょにいてくださると思うと、すごいうれしくて力がわいてきました。



「やあ、翼さん。阿弥陀さまはね』いつでもどこでも君といっしょにいるよ』ってよびかけてくださっている仏さまなんだ。」

「へえ、そんなことできるの？」

「いつでも、どこでも、君といっしょにしていることができるように』なもあみだぶつ』って声になって翼さんといっしょにいるんだよ。」

「いつでも？」

「楽しく遊んでいる時も、いやな思いをした時も、元気な時も、苦しくて不安な時も、いつでも翼さんといっしょにいるよ。」

「どこでも？」

